

【方向性1】 自然、歴史、文化に立脚したまちづくりをすすめる ～古くて新しくて心地よいまち～

具体目標	行動	取組例
1. 金沢独自の生活、生業、界隈性を再認識して継承する	①自然・歴史・文化のなりたちとその価値を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●金沢の生活、生業、界隈性の価値を再認識する学びの機会をつくる</li> <li>●学校教育などで金沢の自然・歴史・文化への感受性を高める学びの機会をつくる</li> <li>・金沢の歴史や文化を語るができる人を増やす</li> </ul>
	②祭礼・風習・季節感を大事にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●季節の和菓子や町会での祭礼などを受け継ぐ</li> <li>●習い事をする</li> </ul>
	③自分たちが住んでいる地域に関心をもつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校と協力して身近なまちの資源さがしをする</li> <li>・地域ごとに、自分たちの暮らしや地域の特色を知るイベントを催す</li> </ul>
	④そして、まちなかに多世代が住む	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まちなかのライフスタイルを発信する、体験する</li> <li>●まちなかの商店街や地元のお店で買い物する</li> <li>・持続可能なまちとして、人口を居住誘導区域へ誘導する（まちなか及び公共交通重要路線の沿線）</li> <li>・町家を保全活用して継承する</li> <li>・子育て世帯に選ばれる魅力的な小学校をまちなかにつくる</li> </ul>
2. 歩いてまちの魅力を感じる	①つい歩きたくなるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歴史的遺構や庭園を活かして気持ちよく歩ける連続した空間をつくる</li> <li>●道路や公園や広場ではまちにとけこむ質のよい緑をつくり守る</li> <li>●細街路を安心して歩けるよう、自動車の交通規制（路線や時間帯）を増やす</li> <li>・用水を自然に感じられるようにする</li> <li>・歩行者や自転車が優先の道路を増やす</li> <li>・魅力的な小路をつなぐ</li> <li>・自転車・高齢者カート・キックボードのレーンを整備する</li> <li>・まちなかに駐輪場やサイクルスタンドを増やす</li> </ul>
	②マイカーをやめてみる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通勤や業務や私事で、バスや電車に乗る日を増やす</li> <li>●歩くには遠いところへはマイ自転車や「まちのり」を使ってみる</li> <li>・普段歩かない道や場所を歩いてみる</li> <li>・カーシェアリングやレンタサイクルをつかう</li> <li>・公共交通を使ってまちなかを巡る（観光地、文化施設等）</li> <li>・歩いて移動して健康になる</li> </ul>
	③乗りたくなる公共交通にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マナーを守り、公共交通を互いに気持ちよく利用できる環境をつくる</li> <li>●心地よいバス停や駅舎をつくる（包摂性が高い、デザインがいい、便利）</li> <li>・積極的に公共交通を使ってみる（公共交通中心のライフスタイルに転換する）</li> <li>・お出かけが楽しくなるような公共交通のネットワークを構築する</li> <li>・バスや鉄道などの公共交通を地域の大切な足としてしっかり活かす工夫を重ねる</li> <li>・郊外からまちなかへの移動を便利にする</li> <li>・MaaSなど、みんなの移動に新しい技術を取り入れる</li> </ul>

【方向性1】 自然、歴史、文化に立脚したまちづくりをすすめる ～古くて新しくて心地よいまち～

具体目標	行動	取組例
3. 自然と調和し災害に強いまちをつくる	①自分が住んでいる地域の自然災害リスクを知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域コミュニティでの防災知識の習得や防災活動を行う （みんなが避難のしかたや避難所を知っている、防災キャンプ、避難訓練など）</li> <li>●これまで発生した災害（地震、水害、土砂災害等）の話を知る</li> <li>・山林を適切に管理し、土砂災害を防止する裸地・斜面の緑化を進める</li> </ul>
	②個人、地域、行政がグリーンインフラをつくる、つかう	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個人宅の庭の意義を理解し、つくり育てる（植樹、雨庭、自然素材をつかう）</li> <li>●月極パーキングやコインパーキングを緑化する</li> <li>・生物多様性を担保する貴重な鎮守の森や斜面緑地など連続するグリーンインフラを守る</li> <li>・公園をグリーンインフラの視点で見直し再整備する</li> </ul>
	③生物文化多様性の価値を知りまもる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生物文化多様性を体感できるエコツアーをする</li> <li>●金沢ならではの自然と文化のつながりを意識した環境保全活動を進める</li> <li>・持続可能な農林漁業を進める</li> </ul>
4. 多世代がわくわくするコトと場をつくる	①まちなかと里山・田園地域が交流する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中山間地のものが手に入りやすくする（まちなかでの朝市、里山へでかける交流、地産地消の推進）</li> <li>●いろいろな場所に小さな畑やコミュニティガーデンを増やし、利用をマッチングする</li> <li>・まちなかと里山の小学生が交流する</li> <li>・市民への農家アドバイザー制度（土作り、施肥、農薬管理、余剰収穫物の市場出荷）をつくる</li> <li>・地域の農地を使った食育を進める</li> </ul>
	②まちなかで新しいコトが起きて偶然が生まれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●毎週、土日に道路空間を歩行者に開放し、まちなかマーケットなどを開催する</li> <li>●まちなかでスポーツを楽しめる場と機会をつくる</li> </ul>
	③界限（エリア）のカラーを打ち出す	<ul style="list-style-type: none"> <li>●界限（エリア）の独自性を生かしつつ、新陳代謝する（リノベーションなど）</li> <li>●生活や暮らしに近い、裏通りや商店街のカルチャーを育てる</li> </ul>
	④新しい場所をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公園や広場を使い倒す</li> <li>●河川敷に楽しい場所をつくる</li> <li>・まちなかの公共空間を市民、観光客、事業者などが積極的に利活用する</li> </ul>